

## 訪問看護ハイレベル人材養成研修会 プログラム・シラバス

日時:平成28年11月26日(土) 9:00~17:00  
場所:ベルサール神田  
主催:一般社団法人 全国訪問看護事業協会

人材育成研修会の目的・方針	受講者の推薦条件
<p>現在、「地域包括ケアシステム」の構築が推進される中、医療と生活の両方を支えることのできる訪問看護はその中でも重要な役割をはたしている。地域で生活している療養者を支えるために、訪問看護の従事者を増やすことと訪問看護の質を確保・向上することが、喫緊の課題である。</p> <p>そこで、当研修会では、各都道府県から推薦された受講者が、地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割を果たすために、「訪問看護師の量的・質的確保の課題を整理し解決策の糸口を提言できる」、「地域の実情に沿った訪問看護の基盤整備・推進活動について方策を考えることができる」、また、それを「地域において企画・運営できる」ような人材(以下、訪問看護ハイレベル人材)を養成し、受講後、都道府県の訪問看護担当者とともに、当研修会などを伝達研修し、地域における同様の人材育成にも関わることができるようにする。この研修会を通して、最終的に各項目の講義の学びを活かして、今後の取り組みの必要性や内容の検討につなげる。</p>	<p><b>受講者の推薦条件</b></p> <p>1. 訪問看護経験が豊富で、今後、講師人材等として活躍できる看護師 2. 地域で訪問看護の普及および推進活動について、今後、企画・提案し実践できる看護師</p> <p><b>選定</b></p> <p>上記1、2のいずれかの条件を満たす者を都道府県から推薦。都道府県は、都道府県看護協会(在宅担当)、訪問看護ステーション連絡協議会等からの推薦などにより選定する。</p> <p><b>推薦人数</b></p> <p>各都道府県2~3名。</p>

部	時間	所要時間	講義名	到達目標	講師		概要		
					所属	氏名	学ぶ内容	地域において伝達する内容	
開会	9:00~9:10	10	開会の辞・本研修の趣旨説明	本研修会で養成しようとしている訪問看護ハイレベル人材像や自らその役割を担う重要性について理解する。	開会の辞:全国訪問看護事業協会会長 挨拶:厚生労働省	伊藤雅治氏	・本研修会の位置づけと役割 ・訪問看護ハイレベル人材育成の必要性		
訪問看護を取り巻く社会的背景									
講義	9:10~9:40	30	総論1 地域包括ケアシステムと在宅医療	地域医療構想・地域医療計画の仕組みを理解し、地域包括ケアシステムにおける在宅医療計画の課題(訪問看護の量と質)を整理することができる。	全国訪問看護事業協会 会長	伊藤 雅治氏	・地域医療計画策定のための会議等の政策および仕組みについて ・訪問看護が地域医療計画策定のための会議等に参画する必要性 ・地域における訪問看護における量的・質的確保の課題と方策 ・訪問看護師の需要予測について	・自地域の行政の政策の仕組みについて ・地域における訪問看護における量的・質的確保の課題と方策 ・自地域における訪問看護師の需要予測について	
	9:40~10:10	30	総論1 及び各論1 地域包括ケアシステムにおける訪問看護への期待と役割	地域包括ケアシステムにおける訪問看護師への期待および医師をはじめ訪問看護を取り巻く多職種との連携から訪問看護の役割について理解する。	日本在宅ケアアライアンス議長 全国在宅医療支援診療所連絡会 会長	新田 國夫氏	地域包括ケアシステムにおける多職種連携	・自地域での地域包括ケアシステムの仕組み ・訪問看護の役割 ・多職種連携	
	10:10~10:30	20	総論2 【最近の動向】 医療的ケア児に対する地域の動向と支援体制	・医療的ケア児の在宅での療養生活の動向について知ることにより、小児訪問看護に取り組む重要性を理解する。 ・自地域における小児の患者数、対応できるステーション、取り組みない理由等を把握し、取組の必要性や内容の検討につなげる。単に小児の動向を学んだということに留まらず、幅広い年齢の対象者や多様な対象者に訪問看護を提供することにより、訪問看護の質の向上を目指す。最新の在宅医療の動向をモニタリングすることにより、必要な研修が導き出せる。	国立成育医療研究センター総合診療部在宅診療科医長 医療連携・患者支援センター在宅医療支援室 室長 国立成育医療研究センター国立成育医療研究センター看護部 副看護師長	中村 知夫氏 中里 弥生氏	・在宅医療の動向における医療的ケア児に対する動向 ・小児訪問看護に取り組む重要性	・小児訪問看護の推進の必要性 ・在宅医療の動向を理解するためのテーマを構築できる	
	10:30~10:40	10							
G W ①	10:40~12:00	80	総論3 [テーマ]地域における訪問看護の現状と課題 ~本当に支えていますか~	グループワークをすることによって、自地域の現状・課題を整理し、自地域における訪問看護師の量的・質的確保など課題解決の方策について考え共有することができる。各地域に共有する課題を検討する。	聖路加国際大学看護学部教授	山田 雅子氏	(事前課題)自地域における地域医療計画を事前に把握し、地域における訪問看護の課題を抽出しておくこと		
12:00~13:00 60 昼食									
訪問看護活動に必要な地域ネットワークと人材育成									
講義	13:00~13:30	30	各論1 在宅医療・介護における行政との連携の推進	在宅医療・介護における行政の役割を知り、行政と訪問看護との連携の必要性を理解する。 ・地域における訪問看護の量的・質的確保に関する課題や解決策について行政と連携する必要性を理解できる。 地域における最新状況や情報の収集方法、窓口等を知ることができる。	東京都福祉保健局高齢者対策部介護保険課長	木村 総司氏	・在宅医療・介護における行政の役割 ・地域における訪問看護の量的・質的確保に関する課題整理と解決について行政と連携する必要性。 ・在宅医療・介護のために地域で行っている会議の種類及び役割 ・地域における最新状況や情報の収集方法、窓口等 ・地域における訪問看護、在宅医療に係る事業(地域医療介護総合確保基金等)	・自地域における在宅医療・介護のために地域で行っている会議の種類と必要性 ・在宅医療・介護における地域会議への参画することの必要性 ・地域における訪問看護の量的・質的確保に関する課題整理と解決について行政との連携。	
	13:30~14:00	30	各論1 医療機関と地域をつなぐ ~入院前から始まる退院支援~	入院前から退院を見据えた連携を理解し、訪問看護の役割や医療機関との連携を考えることができる。	横浜総合病院地域医療総合支援センター センター長代理	乙坂 佳代氏	・医療機関の現状 ・退院支援のあり方。医療機関における地域連携 ・具体的な退院支援の実際 ・退院支援の必要性	・退院支援に訪問看護が効果的に関わる必要性	
	14:00~14:30	30	各論2 訪問看護の人材育成と質の確保	訪問看護の人材育成に必要なスキルやコンテンツを理解し、人材育成の方法について考えることができる。 訪問看護の質の向上のための方法と必要性について理解する。	日本看護協会 常任理事	齋藤 訓子氏	・訪問看護育成に必要なスキル・コンテンツ ・訪問看護分野における人材育成の必要性 ・リーダー論 ・人材育成の方法論 ・訪問看護の質を向上させることの必要性および評価の方法 ・訪問看護の質の管理方法	・訪問看護育成に必要なスキル・コンテンツ ・訪問看護分野における人材育成の必要性 ・リーダー論 ・人材育成の方法論 ・訪問看護の質を向上させることの必要性および評価の方法 ・訪問看護の質の管理方法	
	14:30~14:45	15						休憩・グループ移動	
G W ②	14:45~16:00	65	各論3 [テーマ]訪問看護を推進するリーダーとして地域活動を行うために、どのような方策があるか	自地域における訪問看護の基盤整備・推進のための具体的な方策を導き出し、実践につなげることができる。 訪問看護ハイレベル人材を地域において育成するための方策を具体的に考えることができる。	聖路加国際大学看護学部教授	山田 雅子氏	午前・午後の講義やグループワークを通してそれぞれの地域での訪問看護推進に関する課題等を検討したのち、グループ内で1名の地域を選びその地域における訪問看護推進活動(量及び質的確保)の方策を具体的に考える。また、地域においてハイレベル人材を育成するための方策について提案する。		
テーブルセッション	16:00~16:50	60	各論3	グループワークで導き出した内容を誰にどのように行うのかも含めて実際の状況を想定したプレゼンテーションを考えることができる グループワークした内容を、プレゼンテーションすることができる			・GWで導き出した内容を誰にどのように行うのかも含めて、実際の状況を想定しプレゼンテーションする。フィードバックをもらうことを通して自らの課題に気付く。 ・フィードバックを行うことにより地域においても他者の提案に対し適切な助言建設的な意見を述べることをできるようにする ・講評		
閉会	16:50~17:00	10	閉会の辞		全国訪問看護事業協会 副会長	上野 桂子氏	閉会の辞 アンケート記入		